

からだ ぶい
体の部位がつかわれている 慣用句

①

慣用句	意味
足が棒になる あし ぼう	長時間歩いたり立ったりして、疲れて足がこわばる。 ちやうじかんある た
足の踏み場もない あし ふみば	物がたくさん散らかっていて、足をおろすすきまもない。 もの ち
浮き足立つ う あしだ	恐怖や不安で動揺し落ち着きがなくなる。 きやうふ ふあん どうやう お
頭が下がる あたま さ	相手の言動に心から尊敬する。 あいて げんどう こころ そんけい
頭を冷やす あたま ひ	興奮した気持ちを落ち着かせ、冷静になる。 こうふん きもち お づつ れいせい
腕が上がる うで あ	技術や能力、腕前が上達する。 ぎじゆつ のうりよく うでまえ じやうたう
顔が広い かお ひろ	知り合いが多い。多くの人と付き合いがある。 し あ おお ひと づ
顔から火が出る かお ひ で	恥ずかしくて、顔が赤くなる。 は かお あか
肩で息をする かた いき	肩を上下させ、苦しそうな様子で息をする。 かた じやうげ くる ようす いき
肩を落とす かた お	がっかりして氣力を失う。 がっかりして きりよく うしな
肩を持つ かた も	対立するどちらか一方の味方をする。ひいきする。 たいりつ いっぽう みかた
口が堅い くち かた	秘密を軽々しく他の人に言わない。 ひみつ かるがる ほか ひと い
口が滑る くち すべ	秘密などを軽々しく話してしまう。 ひみつ かるがる はな
口車に乗る くちぐるま の	言葉巧みにおだてられ、だまされる。 ことばたく
口火を切る くちび き	一番先に行動し、きっかけを作る。 いちばんさき こうどう つく

からだの部位がつかわれている慣用語 ㊦

<p>爪の垢を煎じて飲む</p>	<p>優れた人物のことを少しでも見習おうとする気持ち。</p>
<p>手が空く</p>	<p>仕事が一段落し、時間ができる。</p>
<p>手塩にかける</p>	<p>自分で直接世話をし、大切に育てる。</p>
<p>手の平（掌）を返す</p>	<p>人に対する態度を急に変える。</p>
<p>手も足もでない</p>	<p>力が及ばず自分ではどうすることもできない。</p>
<p>猫の手も借りたい</p>	<p>非常に忙しく、たとえ誰でも人手がほしい様子。</p>
<p>小耳にはさむ</p>	<p>聞くつもりもないが、ちらりと聞く。</p>
<p>首をかしげる</p>	<p>不思議や疑問に思う。</p>
<p>首を長くする</p>	<p>期待して待ち望む。</p>
<p>腰が低い</p>	<p>人に対して、控えめな態度でいる。</p>
<p>腰を折る</p>	<p>途中でじやまをする。</p>
<p>腰を抜かす</p>	<p>驚きや恐怖で立てなくなる。</p>

★来週の金曜日(七月十七日)に期末テストをします。

()が棒になる

()が上がる

など、体の部位ぶいをかくに書くようなテストです。

頑張っておぼえてください。